



箸を使って軽食をとるレオ14世。(2008年)

城山のような小教区司牧、学校教育、学問研究、会員は色々な使徒職に関わっており、これが私たちの使徒職と言うの

聖ペトロ大聖堂のバルコニーから世界中に向けて「私は皆さんと共にキリスト信者であり、皆さんのために司教です」という聖アウグスチノの言葉を引用し、「私は聖アウグスチノの息子であり、アウグスチノ会士です」とおっしゃった新教皇レオ十四世の第一声。

このお姿を目にしたがら、それでもこれは夢ではないのかと不思議な気持ちになりました。

私たちのパパ様 レオ十四世

今月の講話
今田昌樹 神父



教会 ニュース

長崎市若草町6-5
カトリック城山教会
TEL 844-9208
広報委員会

HPアドレス



<http://www2.cncm.ne.jp/~siroyama/>

アウグスチノ修道会2001年の総会で、ご自分の46歳の誕生日に総長に選ばれたプレヴォスト師。

そこで出会って以来12年間、様々な会議の場や日本訪問の折に関わる機会をいただき、そういう意味で身近な存在になっていた方が、今教皇として私たちの前におられるのです。

画面に映るそのお姿の前に、私の心中は驚き以外の何ものでもありませんでした。

ところで、「アウグスチノ会はどんなことをなさる会ですか、どんな特徴がありますか」という質問を受けることがあります。

教皇レオ14世



教皇レオ14世は5月12日(月)、コミュニケーション

「平和のコミュニケーションの道」

ションの世界で働く人々との出会いを持たれた。

「平和を実現する人々は幸いである」(マタイ5・9)という、イエスの山上の垂訓の言葉を教皇は示しつつ、この教えは同意の強要や攻撃的な言葉、競争的な概念なしに、真理と愛を分かたず追求する、異なる形のコミュニケーションを私た

は困難ですが、敢えて言うならば、共同生活や使徒職を通して教会と社会の一致のためのパンだねとなるというのが私たち

の会の使命です。レオ十四世はこれを背景にご自分の教皇としての使命を意識しておられるのがすでにバルコニーからの言葉にうかがえました。

考えの人を抱えるカトリック教会が、互いを隔てる壁を乗り越えて真の一つになること、それは世界が一つになっていくための先駆けであり、そのためにご自分をささげて行かれるレオ十四世と共に私たちも歩んでいきたいと思えます。

ちに促している、と話された。「平和は私たち一人ひとりに始まる」と述べた教皇は、その平和は私たちが他者を見つめ、他者に耳を傾け、他者について話す方法から始まるのであり、こうした意味

様々な問題を突き付けてくるが、そこから逃げるわけにはいかない、と話す教皇は、むしろ、凡庸に陥らぬよう注意しながら、それぞれの役割や仕事を通し、時代の挑戦を受けなければならぬ、と励ました。

6月
「きよつをささげる」
一日の始まりの時に
神とそして出会う人々に
きよつをささげ
一日を閉じる時に
神とそして出会った人々に
ありがとう ごめんなさい
よろしくおねがいします
と心の中で語りかける日々
を重ねてまいりましょう
【教皇の意向】
世界に思いやりの心を
育む
私たち一人ひとりが、
イエスとの人格的な交
わりの中でなぐさめを
いただき、イエスのみ
心によって、世界に対
して思いやりの心を育
むことができますよう
に。
【日本の教会の意向】
難民移住移動者
さまざま理由で故
郷を離れざるを得ない
人たちをお守りくださ
い。私たちが兄弟姉妹
として、彼らを受け入
れるための必要な環
境を整えることができ
ますように。

教会行事

《6月 年間・イエスのみ心の月》

- 1日（日） 主の昇天
朗読（10:00） 野上 真弓、吉田 登美子
後援会総会・隣組長会・信徒総会
10時ミサ後 聖堂
- 8日（日） 聖霊降臨の主日
朗読（10:00） 中島 みゆき、田崎 住枝
鷹島殉教祭（時津教会）11:30～時津港
J L M M（日本カトリックミッシヨナリー
ムーブメント）の活動紹介
10時ミサ後 聖堂にて
- 15日（日） 三位一体の主日
朗読（10:00） 川原 敏行、川原 由美子
墓地相談会 9時～12時 信徒会館
- 22日（日） キリストの聖体
朗読（10:00） 深町 文子、峯 節代
城山ふれあい広場 8時ミサ後～
- 24日（火） 洗礼者聖ヨハネの誕生
- 27日（金） イエスのみ心
- 29日（日） 聖ペトロ 聖パウロ使徒
聖ペトロ使徒座への献金
朗読（10:00） 典例委員

《7月 年間》

- 5日（土） 学院・教会合同清掃 9時～
- 6日（日） 年間第14主日
朗読（10:00） 金井 由美、谷本 治美
隣組長会（11:10） 信徒会館

学院行事

《6月》

- 個人面談月間（園）
- 3日（火） 朝会、歯科検診①（小）
お茶教室（5年・4年）
- 4日（水） 歯科検診②、クラブ活動③（小）
英語教室（園）
- 5日（木） 親子給食会（1年）
体育教室、子育て支援ゆうゆうひろば（園）
- 6日（金） 検尿③、ゆるしの秘跡（小）
- 10日（火） 児童集会＜委員会集会＞（小）
歯科検診（園）
- 11日（水） 保護者会（5年）
- 12日（木） 親子のつどい（はな・ほしぐみ）
- 13日（金） 親子のつどい（やま・そらぐみ）
- 14日（土） 第1回オーブンスクール
※土曜授業日（小）
- 17日（火） お茶教室（さくらぐみ）
- 18日（水） 英語教室（園）
- 19日（木） 宿泊学習（5年）
体育教室、子育て支援ゆうゆうひろば（園）
- 20日（金） 宿泊学習（5年）、避難訓練（園）
- 23日（月） かみさまのおはなし（やま）
- 24日（火） 朝会、お茶教室（1年・6年）
かみさまのおはなし（そら）
- 25日（水） 委員会活動（小）
かみさまのおはなし（はな）
- 26日（木） 保護者会（1年・3年・6年）
かみさまのおはなし（ほし）
- 27日（金） 保護者会（2年・4年）

ヒルデン神父さま
おかえりなさい

5月18日（日）10時のミサ後に信徒会館にて、ヒルデン神父の歓迎会が、約80人の信徒の参加で開催された。

会は川渕賢治評議会副議長の下でスタート。最初に川渕俊一評議会副議長の「今までの経験を活かしていただいて、城山教会を盛り上げてくたさい」との神父への歓迎のあいさつが行われた。次に、ヒルデン神父があいさつで「城山の信徒の皆さん一人ひとりにあいさつしたい」との思いを、NHKが手伝ってくれました。（新教皇誕生で5月18日にNHKのインタビューに應じる神父がテ



インタビューに答える神父／左

レビで全国に流された」と話されると大きな笑い拍手が送られた。

そして、評議会会長の遠山神父の「乾杯」で会食・懇談が始まった。余興は、子ども会のヒルデン神父へのインタビューが始まり、神父のユーモアある回答に、皆さんの笑い！（写真）。小さき花の会の歌、聖歌隊の歌、恒例となった

聖母月に

ロザリオの祈り

子ども会は、日曜8時のミサが終わると聖堂の一角に全員が集まります。ロザリオの意向は子どもたちから出る声を拾い、決めていきます。低学年は保護者と一緒にロザリオの繰り方を教えてもら



いながら一生懸命に唱えていました。

ロザリオは祈りの道具にすぎませんが、幼い子どもたちも色々な大きさや美しい珠の色に惹かれ、祈りへと導かれていた姿は私たちを癒してくれました。（子ども会）

ロザリオの集い

5月の第二日曜日は母の日。あいにくの小雨の中、慰めの聖母墓地に25人が参加し行われた。

マリア像前での、遠山主任司祭のあいさつと献花が始まり、祭壇前まで、聖歌「やさしき母」を歌いながら行列移動。

その後、ロザリオと「すべての死者のための祈り」を唱え、「マリア

さまのこころ」を歌いながら、墓地に眠る家族や親族・友人の永遠の安息のため祈った（写真）。



去年は雨のため中止だったが、今年は傘を差しながらも皆さんでお祈り出来たことに喜びを分かち合った。

最後に墳墓地管理委員長から「いつも墓地管理運営にご協力いただき、ありがとうございます」

結婚

5月24日

永田 郁弥さん
赤波江愛美さん

転出

川尻 沙織里さん

（県外へ）
西 数則さんご家族

（山田教会へ）
小原 和貴さんご家族

帰天

5月19日

（稲佐町 83歳）
（5月25日現在で掲載）
パウロ 浦越 静男さん